

2019年の実践を通じたFD手法開発と時間選好・リスク選好に及ぼす将来世代インパクト ——松本市における実践と佐久穂町における準備作業

武者 忠彦（信州大学経法学部）

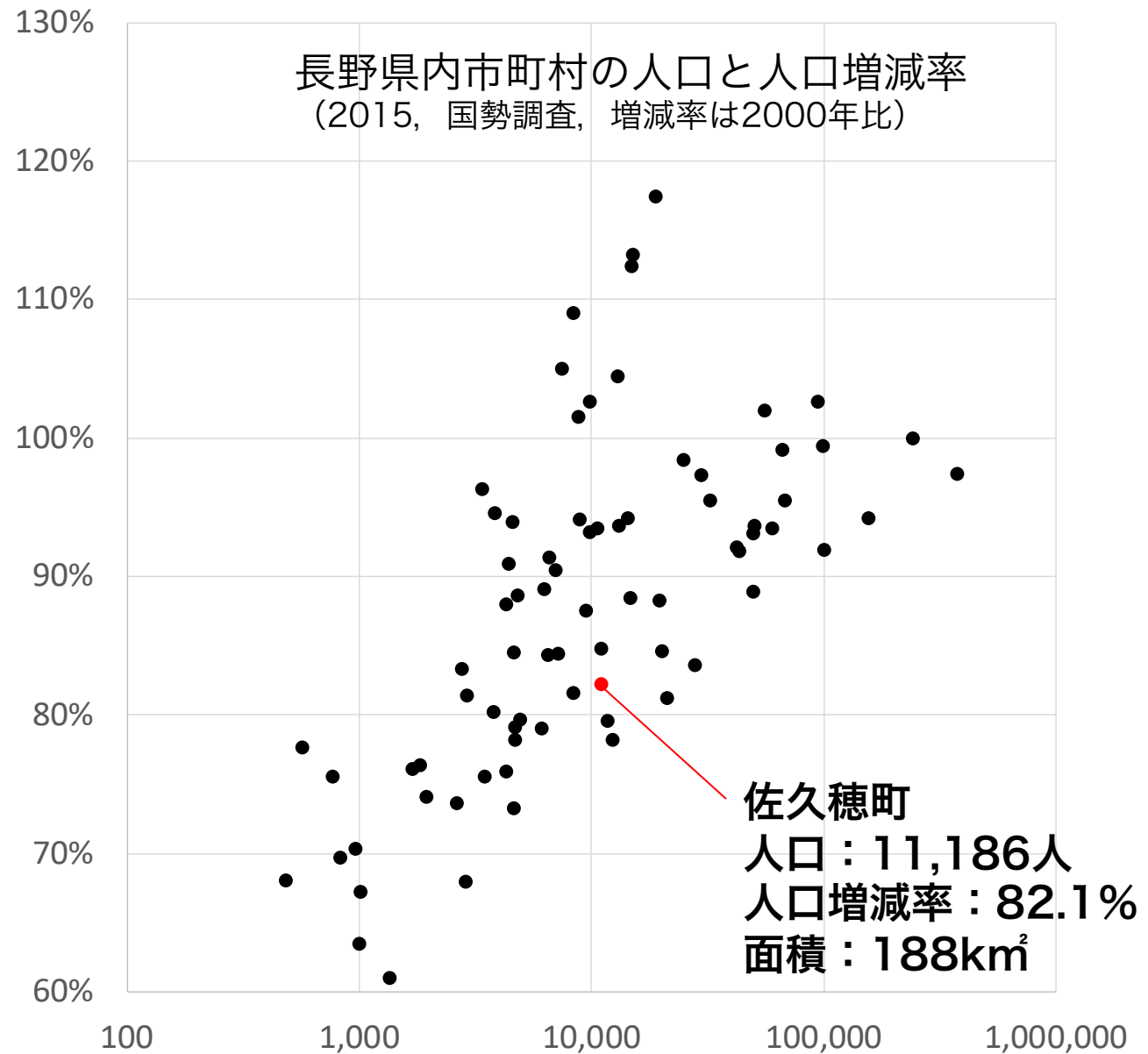
musha@shinshu-u.ac.jp

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/lab/mushasemi/>

フューチャーデザイン・ワークショップ2020

20200126@ベルサール六本木グランドコンファレンスセンター

佐久穂町の概要



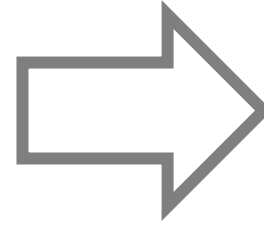
佐久穂FDにおける研究のねらい

▶FDの「出口論」——政策過程への実装

- ・FDの成果を政策にどう反映するのか
- ・佐久穂町では自律的に新しい政策をつくった経験が「皆無」
- ・財政拡大時代は政策形成の横並び戦略が有効→財政縮小時代は横並び戦略が無効に
- ・自律的に政策形成する仕組みが不可欠（アイデアと合理性の担保）
- ・既存の政策過程では対応できない→フューチャーデザイン援用の可能性

従来の政策過程との違い

〈財政拡大時代〉
中央から下りてきた政策の
利益配分をする



〈財政縮小時代〉
地域独自の政策を
公共的な視点で考える

コンサルタント委託
(政策の横展開)



審議会・委員会
(充て職による答申)

議会
(専門知なき承認)



ワークショップ・パブコメ
(アリバイづくり・ガス抜き)

フューチャー・デザイン
ワークショップ

- ・政策的な合理性や正統性をどう担保するか？
- ・実施計画などにも組み込み可能か？

佐久穂フューチャー・デザイン研究会の概要

- メンバー** 佐久穂町職員（主に30～40代）9名
地域おこし協力隊4名
地方創生戦略推進会議委員2名
信州大学経法学部教員5名
- 初年度の目標** FDテーマの設定とファシリテーター養成
- 活動の経緯** 2019/2/12 佐久穂町・信州大学経法学部連携協定締結
フューチャー・デザイン研修会＋ワークショップ
——複数回のミーティング——
- 2019/7/12 第1回研究会 | キックオフ・ミーティング
- 2019/9/4 第2回研究会 | テーマ設定のためのワークショップ
- ※台風19号による被災のため来年度まで休止

FDテーマ設定のためのコーディング

将来は移動手段（公共交通）が大きく変わる	インフラを維持するにはコストがかかる	将来世代から「あってよかった」と言われたい道の駅
生活の場として佐久穂を選ぶ未来の人たち	将来を見据えた公共施設の利活用の検討	都市圏からの人口流入はあるのか
佐久穂で外国人との共生を考える	佐久穂で次世代を育てる	将来の行政（佐久穂町）が担うサービスは何か
将来にも繋ぎたい佐久穂の暮らし	将来の健康を考える	仕事や職場を第一に考えない将来の生活スタイル
佐久穂に暮らす人たちの仕事や生業の将来の姿	佐久穂の価値や誇りに気づくために本質を考える	生活は多様である
成長路線の考え方を見直すことが大切である	FDで佐久穂の将来を見据えた目標を明らかにする	町の空間編成（ゾーニング）を考える
土地や家屋の活用方法を考える	佐久穂の地理的範囲を超えて佐久穂を考える	佐久穂の豊かな価値＝森林・自然環境を未来に繋ぐ
産業廃棄物と化すメガソーラー	再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る	将来を考えるのは難しい
FDを考えるためのヒント	佐久穂に暮らして良かったといえるコミュニティを作る	パーキング・ロット

- ▶ FDに関する研修会における参加者のクロストーク（2019年2月）
- ▶ 第1回佐久穂FD研究会におけるメンバー間の議論（2019年7月）
- 音声記録をもとにコーディング（井上信宏担当）
- ▶ 188のカード／27の見出し／6のカテゴリー
- ▶ （現代世代としての）将来像，地域課題，主張，希望，疑問など

コーディングにより抽出された「見出し」
（井上信宏作成）

フューチャーデザインで考える未来の佐久穂町 ~研究テーマにつながるアイデア~

佐久穂の価値や誇りに気づくために本質を考える

佐久穂に暮らしてはいいけれど、佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

佐久穂には、本質的なところや誇りが変わっていかないと考えられる。

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

FDで佐久穂の将来を展望し課題を明らかにする

タイムマシンで出かけた未来の社会は、今の社会とは異なる。

50年後の将来世代は「なぜ50年前の人は何をしていなかったのか」と思う。

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

佐久穂の考え方を見直すことが大切である

佐久穂の考え方を見直すことが大切である。

佐久穂の考え方を見直すことが大切である。

佐久穂の考え方を見直すことが大切である。

FDで佐久穂の将来を展望し課題を明らかにする

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

佐久穂の価値や誇りに気づくことが少ない。

インフラを維持するにはコストがかかる

インフラを維持するにはコストがかかる。

インフラを維持するにはコストがかかる。

インフラを維持するにはコストがかかる。

将来を担った公共施設の利用者の計画

将来を担った公共施設の利用者の計画。

将来を担った公共施設の利用者の計画。

将来を担った公共施設の利用者の計画。

将来は維持費が（公共施設）が大きく変わる

将来は維持費が（公共施設）が大きく変わる。

将来は維持費が（公共施設）が大きく変わる。

将来は維持費が（公共施設）が大きく変わる。

土地や家屋の活用方法を考える

土地や家屋の活用方法を考える。

土地や家屋の活用方法を考える。

土地や家屋の活用方法を考える。

将来世代から「暮ってよかった」と言われるような町

将来世代から「暮ってよかった」と言われるような町。

将来世代から「暮ってよかった」と言われるような町。

将来世代から「暮ってよかった」と言われるような町。

産業発展後と化するメガソーラー

産業発展後と化するメガソーラー。

産業発展後と化するメガソーラー。

産業発展後と化するメガソーラー。

生活の場として佐久穂を選んだ人たちの声

生活の場として佐久穂を選んだ人たちの声。

生活の場として佐久穂を選んだ人たちの声。

生活の場として佐久穂を選んだ人たちの声。

生活は多様である

生活は多様である。

生活は多様である。

生活は多様である。

佐久穂で外国人との共生を考える

佐久穂で外国人との共生を考える。

佐久穂で外国人との共生を考える。

佐久穂で外国人との共生を考える。

町民の意見（アンケート）を調べる

町民の意見（アンケート）を調べる。

町民の意見（アンケート）を調べる。

町民の意見（アンケート）を調べる。

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る。

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る。

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る。

佐久穂に暮らして良かったといえるコミュニティを作る

佐久穂に暮らして良かったといえるコミュニティを作る。

佐久穂に暮らして良かったといえるコミュニティを作る。

佐久穂に暮らして良かったといえるコミュニティを作る。

佐久穂で次世代を育てる

佐久穂で次世代を育てる。

佐久穂で次世代を育てる。

佐久穂で次世代を育てる。

将来の健康を考える

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

佐久穂の豊かな自然環境を未来に繋ぐ

佐久穂の豊かな自然環境を未来に繋ぐ。

佐久穂の豊かな自然環境を未来に繋ぐ。

佐久穂の豊かな自然環境を未来に繋ぐ。

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る。

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る。

再生可能エネルギーで持続可能なまちを作る。

将来にも残したい佐久穂の暮らし

将来にも残したい佐久穂の暮らし。

将来にも残したい佐久穂の暮らし。

将来にも残したい佐久穂の暮らし。

将来の健康を考える

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来を考えるのは難しい

将来を考えるのは難しい。

将来を考えるのは難しい。

将来を考えるのは難しい。

バーキング・ロット

バーキング・ロット。

バーキング・ロット。

バーキング・ロット。

仕事や職を第一に考えない将来の生活スタイル

仕事や職を第一に考えない将来の生活スタイル。

仕事や職を第一に考えない将来の生活スタイル。

仕事や職を第一に考えない将来の生活スタイル。

将来の健康を考える

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

将来の健康を考える。

FDを考えるためのヒント

FDを考えるためのヒント。

FDを考えるためのヒント。

FDを考えるためのヒント。

バーキング・ロット

バーキング・ロット。

バーキング・ロット。

バーキング・ロット。

2019.8作業 9/1完成
 作業者:井上信宏(信州大学)
 190212研修と190712#01研究会の発言記録をもとにコーディング作業し、
 論議カード(95枚+93枚)を作成して整理した。[言語分析]

フューチャードサインで考える未来の佐久穂町～研究テーマにつながるアイデア～

FD導入の意義や背景

- FDのテーマ選定では持続可能性などどこに価値を置くのかがカギになる
- 50年後の将来世代は「なぜ50年前の人は何かしてくれなかったのか」と言うはず

消防団

生活のあり方

- 50年後も佐久穂町に暮らしていきたい
- 50年後には産業としての農業ではなく自分で食べるための農業になる

ロボット

農家って未来は？

年が下りの住居は如何でいいのか？

行政のあり方

- 将来は市町村という自治単位がなくなっている
- 行政は佐久穂町の魅力づくりをどのように支えていけばよいのか

行事・祭

言葉

物的環境のあり方

- 50年後は地方の建設業が衰退するのでインフラ維持が困難になる
- 施設や景観、自然環境をどのような形で遺すのか

安心ではなく安全

FDの展望

- 現段階で50年後を見通すのは難しい
- FDは今の人たちがどうすれば幸せになるかという視点ではない

未来に残物集積の未来

大雨雪災害

草刈り雪かき

8作業 9%完成 作業者: 井上信宏(信州大学)

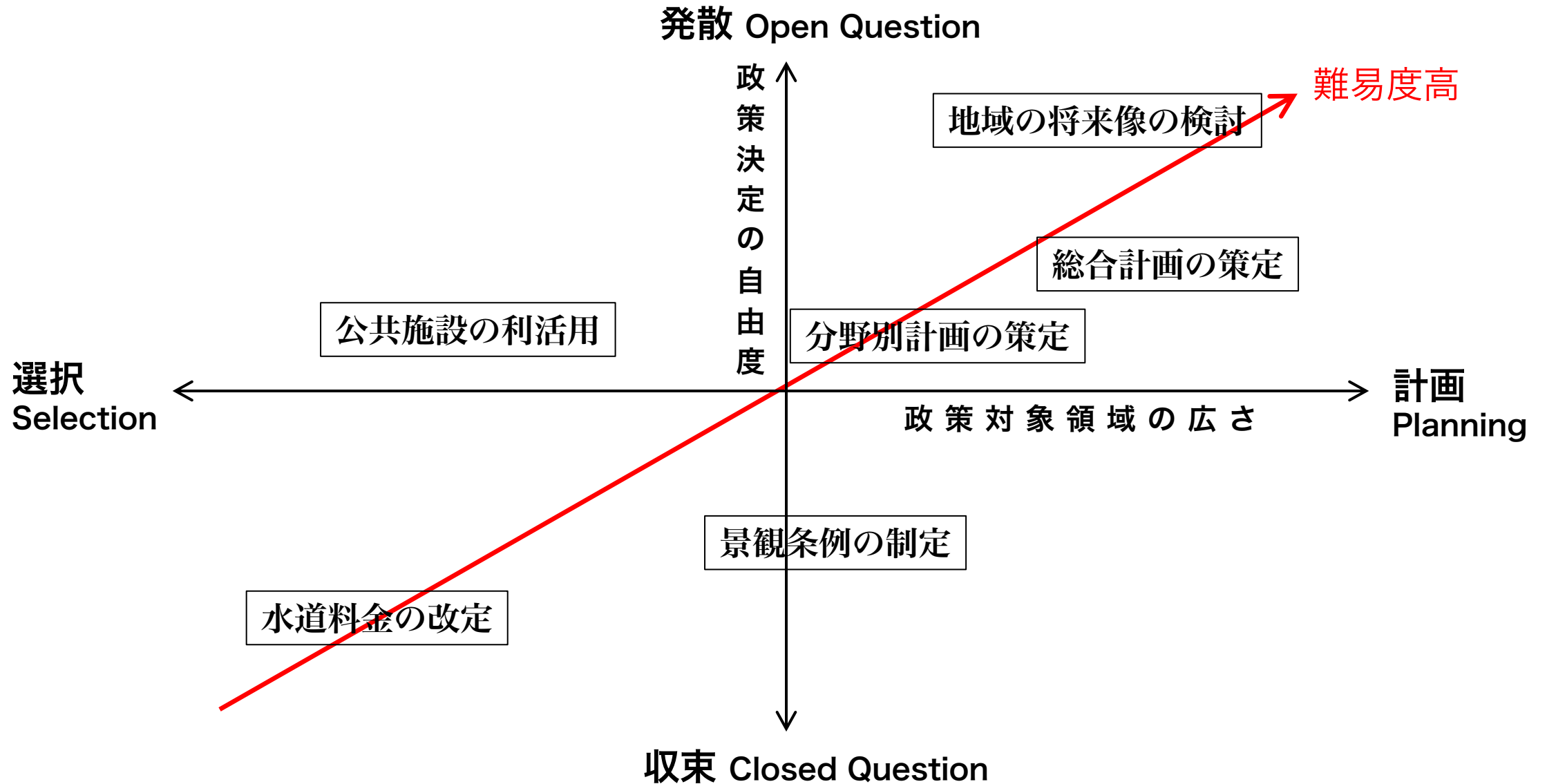
190212研究部と190712*01研究会の発言記録をもとにコーディング作業し、論議カード(95枚+93枚)を作成して整理した。[言説分析]

FDテーマに適合する要件

▶ 「世代を超えた公共性」を内包しているか

- ・ 持続可能性に資するもの
- ・ 将来世代にリスク, コスト, 判断を先送りしがちなもの
(将来を考えると選択すべきなのに選択しがたいもの)
- ・ 潜在的なリスクやコストが見えていないもの

FDテーマの類型



佐久穂FDテーマ設定WSのグループワークでの意見

